

登米の力 とめのちから 登米の地から

高校生向けものづくり企業見学会を開催しました！

地方振興部

登米高等学校を対象とした「高校生向けものづくり企業見学会」を5月20日に開催し、普通科3年生17名が参加しました。

この見学会は、登米地域の優れた製造業への理解を深め、ものづくりを志向する人材の確保を目的とするものです。

今回は、電子部品や自動車部品、金融端末部品などを製造している3社を見学しました。生徒た

ちは熱心に説明を聞き、それぞれの企業で「学生のうちにやっておくべき勉強や取得すべき資格はあるか」、「どのような人材を求めているか」などやる気に満ちた質問をしていました。

企業の方から「今やっていることを精一杯やり、失敗を恐れずに挑戦をしてほしい」と伝えられるなど、生徒達にとって将来について考える有意義な機会になりました。



企業見学会の様子①



企業見学会の様子②

トップマネジメントセミナーを開催しました！

地方振興部

県内事業所の経営者や管理者の方々を対象として、今後の業界展望等について学ぶトップマネジメントセミナーを6月18日に開催しました。

このセミナーは、管内企業の企業力向上を目的として毎年開催しているものです。

今回は「次世代自動車戦争は電子デバイスの爆発的成長をもたらす！！～高まる東北エリアの重要性～」という演題でセミナーを実施し、21企業27名の方が参加しました。参加者の方々は、講師の熱意のこもった話に熱心に耳を傾けていました。

今後も登米地域の産業活性化に向けて、様々な事業に取り組んで参ります。



セミナーの様子

スマート農業の現地実証試験を行っています！

農業振興部

農業者の高齢化、担い手不足、経営規模拡大による労働力不足、後継者等の経験・技術力不足が課題となっています。

農業振興部では、省力化と若手農業者への技術継承のため、JAみやぎ登米と住友商事(株)等と連携

し、スマート農業の実証試験を支援しています。

米山町や豊里町の実証ほ場では、ドローンによる生育診断や農薬散布、水位・水温センサーによる水管理等を実施し、試験結果を検討しながら登米地域にスマート農業の普及を推進しています。



農業用ドローン（H30年の薬剤散布実演の様子）



水田水位・水温センサー

全共鹿児島大会に向けて～24ヶ月肥育試験始まる～

東部家畜保健衛生所

牛のオリンピックともいわれる全国和牛能力共進会（全共）は、5年に一度、和牛の能力の向上等を目的に開催され、体型から父牛や母牛としての能力を評価する「種牛の部」と肉質を評価する「肉牛の部」からなります。前回の宮城大会（平成29年度）では、種牛の部第2区で登米市から出品された「さいぜんれつ号」が日本一に輝きました。

次回鹿児島大会は令和4年度に開催されますが、中でも肉牛の部については、出品月齢が通常の飼養期間より約半年短いこともあり、本番に向けた肥育試験を行います。去る5月10日に繁殖農家で生産された40頭の子牛が肥育農家18戸へ引き渡され、本格的に全共に向けた準備が始まりました。今回の肥育試験のデータを鹿児島大会に向けて有効に活用していき、当所や関係機関・

団体、生産者と地域一丸となり種牛の部も含め日本一を目指していきます。



子牛引き渡しの様子

田んぼの学校を開催しました！

農業農村整備部

登米市南方町で総合学習支援「田んぼの学校」を6月12日に開催しました。

東郷小学校の5年生21人を対象とし、田んぼの役割を説明した後、農業用水路にて生き物調査と水質調査を行いました。「迫川沿岸土地改良区」と「裏大岳ふる里守り隊」の皆さまの協力もあって、子どもたちがたくさんの魚や水生昆虫を

捕まえ、触れあうことができました。捕まえた生き物は、アメリカザリガニやメダカ、シマドジョウ、ニホンアマガエルなどでした。

水質調査では、pHにより色が変わるパックテストに、子どもたちは目を輝かせて取り組んでいました。



生き物調査の様子



同定作業（生き物の種類を特定すること）の様子

「市民参加の新たな森づくり・春」植樹祭を開催！

林業振興部

一般公募の市民の方々とスタッフを合わせた約80名の参加により、登米市と共催で「市民参加の新たな森づくり・春」植樹祭を開催しました。

当日は好天に恵まれたものの、5月としては記録的な暑さとなり、参加者は体調管理に注意しながら、県林業技術総合センターが開発した少花粉

スギ苗800本を植樹しました。

今年は特に社会人の方々が会社ぐるみのレクリエーションとして参加している例が目立ち、植樹行事として新たな方向性を示しつつ、着実に市民に浸透・定着してきていることを実感しました。



植樹する少花粉スギ苗を配布



植樹作業の様子

令和元年度動物ふれあい教室を開催しました！

東部保健福祉事務所登米地域事務所

6月26日に「令和元年度動物ふれあい教室」を開催しました。

この教室は、子どもたちに小動物とのふれあいを体験させることにより、動物愛護を通じた生命を大切にする心の育成と、動物の適正な管理に基づいた人と動物が共生する社会の形成を目的とするものです。

今回は登米市立豊里幼稚園を会場に、4～5歳の園児44名を対象に開催しました。当日、園児たちは動物とふれあう時の注意点について説明を受けた後、実際に犬・ウサギ・モルモット・ヤギ

とふれあい、犬以外の動物たちにはエサやりも行いました。園児たちはしっかりと説明を聞き、動物と適切にふれあうことができ、また、動物とのふれあいが終わった後にはしっかりと手を洗うことを、手洗い指導を受けながら関わっていました。

園児たちは直接動物とふれあうことで、動物のあたたかさや心臓の音などを感じることができ、生き物の生命を大切にしようという気持ちを育むことができていました。



動物ふれあい教室の様子①



動物ふれあい教室の様子②

<登米保健所からのお知らせ>

～腸管出血性大腸菌感染症（O157やO26など）に注意しましょう～

病原性大腸菌による感染症で、主に激しい腹痛と下痢を発症します。汚染された食物の摂取や便中に排泄された菌が手指を介して口に入ることで感染します。予防のポイントは、石けんと流水でよく手を洗う、中心までよく加熱（75℃以上で1分間以上）する、食品は冷蔵保存する、調理器具の消毒です。感染防止に努めましょう。

7月1日から8月31日は熱中症予防強化月間です。

昨年は、県内でも多くの方が熱中症で救急搬送されました。熱中症は運動している時だけでなく、屋内でも夜間でも、子どもから高齢者まで幅広い年代層で発生しています。熱中症は、一人一人が正しい知識を持つことで防ぐことができます。正しい知識で上手に熱中症を予防し、楽しく夏を過ごしましょう。



参考 熱中症予防情報サイト（環境省HP）

土砂災害防止月間の取り組みについて

東部土木事務所登米地域事務所

近年は1時間に50ミリを越えるような局地的な大雨が増加している傾向にあり、毎年各地で土石流や地すべり、がけ崩れなどの土砂災害が多発し、人命・財産に大きな被害を及ぼしています。

このため、土砂災害の防止及び被害の軽減について住民の皆さんに関心を深めていただくために、国土交通省、宮城県及び市町村では6月を「土砂災害防止月間」と定めています。

県では、例年土砂災害の多発する梅雨・台風の時期を前に、県民の皆さんに土砂災害の危険性などを認識していただくため、危険箇所のパトロールや広報活動、絵画・作文コンクールを行っています。

登米地域事務所では、この月間に合わせて「土砂災害危険箇所パトロール」を毎年継続して行っています。登米市内には土砂災害の恐れがある土砂災害警戒区域等が685箇所あり、今年度は、6月18日に市内12箇所の「土砂災害危険箇所パトロール」を行いました。

この活動は、宮城県職員、登米市職員、砂防ボランティア協会の方々と土砂災害の危険がある箇

所の点検パトロールや住民への啓発活動を行うものです。土砂災害の危険がある箇所となるのは、

- ①がけ崩れ（傾斜が30度以上である土地が崩壊する自然現象）が起こる可能性がある場所
- ②土石流（山腹が崩壊して生じた土石等または溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象）が起こる可能性がある場所
- ③地滑り（土地の地下水等が原因で滑るように移動する自然現象）が起こる可能性がある場所となっています。

がけ崩れ・土石流・地滑り等、土砂災害の危険がある箇所の近くにお住まいの方は、これから梅雨や台風などで土砂災害が多発する時期となりますので、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された時はすみやかに安全なところへ避難してください。なお、避難場所・避難経路を家族みんなで確認しましょう。また、がけ等の様子が普段と違うときは、早めに安全なところへ避難するとともに登米地域事務所または登米市にお知らせください。



パトロール出発式の様子



パトロールの様子①



パトロールの様子②



パトロールの様子③